

希望に胸
膨らませ

町内で
入学・入園式

4月6日、町内の2小学校・1中学校で入学式が行われ、小学生21名、中学生20名が真新しいランドセルや学生服に身を包み、保護者や先生、先輩たちが温かく見守る中、希望に満ち溢れた新たな一歩を踏み出しました。

また、8日には小平幼稚園、鬼鹿幼稚園で入園式が行われ、新入園児たちが保護者に手を引かれながら、少し緊張した面持ちながらも、名前を呼ばれると元氣いっばいに返事をし、晴れの姿をお父さんやお母さんに見せていました。



元氣に返事をする新入園児
(小平幼稚園)



緊張した面持ちの新1年生
(鬼鹿小学校)



20名が入学した小平中学校

4 | 13
元氣に戻れ
と願ひ込め

幌沖内川で
サケ稚魚放流

サケ稚魚放流作業が幌沖内川上流で行われ、新星マリン漁業協同組合道立水産ふ化場ら関係者が、サケの稚魚約200万匹を4月13日から2日間にわけて稚魚中間育成施設や、町内の川へ放流しました。

稚魚は、道立水産ふ化場道北支場から輸送され、回帰率を高めるために、中間育成施設では約2週間飼育された後、川に放流されました。放流されたサケは、約4年後に2%程の回帰率で遡上するとされています。



施設に放たれるサケの稚魚

4 | 15
かけがえの
ない財産を
守るために

小平町林野火災
予防対策協議会

小平町林野火災予防対策協議会が役場健康福祉センター2階大会議室で開かれました。

小平町では4月21日～5月31日までを「林野火災予防強化期間」と定めており、予防の啓発に努めています。

出席した関町長は「かけがえのない財産を失わないためにも、住民一人ひとりの意識を高めることが重要であり、これからも啓発を進めていきたい」とあいさつし、林野火災防止への決意を改たしていました。



林野火災予防意識を高める参加者